

これまでも、これからも、ずっと在宅

# かんたき通信



私たちの  
の

地域密着型サービスをご存知ですか？

2025年5月号



『看護小規模多機能のご利用ケース事例をご紹介します』



「どうしても家に帰りたい」～ご本人の希望を叶えたいご家族の想い～

## 80歳台 女性 要介護4 独居 歩行困難 アパート2階に在住

### ●診断

左大腿骨頸部骨折

### ●ADL

階段昇降は2名介助  
歩行は手引介助  
病棟では車椅子使用



### ●ご本人の意向

どうしても自宅に帰りたい。  
退院してそのまま入所  
は考えられない。

### ●ご家族の想い

本人は認知症もないし、このまま家に帰れずに入所は気持ちが受け止められないと思う。  
家で転んで怪我をしてもいいから、本人が納得するまでは帰してあげたい。

### ●経過

リハビリが思うように進まず、階段歩行は自立できず。自宅での独居は危険と言われるも、本人とご家族は納得されず。ポータブルトイレも病棟では使用せず、自宅に帰ってからどうなるかわからない。

在宅療養開始のため

『看護小規模を選択される』



## 退院前カンファレンス

ご家族と話し合い、プランを作成。生活保護受給されており、料金に制限があるため泊りは利用せず。平日5日は通い、土日は息子様がご本人の自宅に行き、介護をされる。

排泄はリハビリパンツ、PTトイレを設置で対応。病院で本人とご家族に指導して頂いた。ベッドの高さや危険と思われる場所への手すりを提案。



## 利用開始時

通いの送迎はスタッフ2名で階段の昇降を介助。施設内ではシルバーカー使用し、見守り介助で歩行。ご自宅では危険行動なく、お部屋の中を四つん這いで移動してリビングと寝室を行き来されている。排泄もPTトイレを利用し、ほぼ失禁なく過ごされている。



看護小規模多機能では

臨機応変に在宅での生活を支えることができるサービスです。在宅は厳しいと思われるお客様でも、一報ご相談下さい。

紹介動画  
見てね！

## そして現在



居宅での生活は無理とされていましたが、転倒なく過ごされています。  
施設ではシルバーカーや手引き歩行で移動されている。急な立ち上がりといった危険行動もなし。

施設ではレクリエーションに参加されたり、他のお客様とお話をして楽しそうに過ごされている。

デイサービス利用日には身だしなみにも気を遣い、前日に着る服を決められている様子。送迎時にスタッフが更衣を介助し、デイサービス利用に通われている。



看護小規模多機能ふくしのまち上尾  
上尾市荻町目北10-3



TEL 048-725-6662  
FAX 048-725-6664

担当 久保(所長)  
飯塚(CM)



看護小規模

連携



主治医